

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

■ 事業報告

事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

中里北部地区は、古くからある住宅、昭和 40 年代中頃より開発された住宅、団地、そして、新たに開発された住宅等が混在しています。

人口は 14,993 人、0～14 歳は 1,862 人、15～64 歳は 9,190 人、65 歳以上は 3,941 人となっております。中里北部地区の高齢化率は 26.3%で、区内平均の約 20%と比べると高齢化も進んでおり、地域包括支援センターに寄せられる相談件数も年々増加傾向にあります。（「なるほどあおば 2016」より引用。基準日：H28 年 3 月 31 日）

地域の特徴としては、公園が多く、田園風景も広がる緑豊かな地域です。中里北部地区は駅から徒歩 20 分以上かかる地域であり、坂道も多い事から、子育て世代や高齢者、障がい者の方が外出しにくい地区でもあります。ケアプラザから地域に出向き、事業や出張相談などおこないながら、あらゆる世代に支援が拡がるよう、職員で取り組んできました。

また、地域福祉保健計画にある『あらゆる世代の交流がさかんに行なわれ、さまざまな人の和が広がり、すべての住民が地域の一員と感ぜられるまち』へ向けての取り組みや課題解決に向け、会議等の場を通して、地域の方々をはじめ、区役所、区社会福祉協議会と共に、情報を共有し、次のステップに繋げられるような取り組みを検討しました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

・地域の身近な相談窓口として、ケアプラザの広報紙やホームページを活用し、地域への広報活動に努めました。

・地域の活動の場に各部門の職員が連携を図りながら参加していく事で、顔の見える関係を大切にしています。相談も子どもから高齢者まで、様々な支援が求められています。様々な課題や実態把握、解決に向けて速やかに対応できる体制を検討しました。

・相談にあたる職員のスキルアップも必要である事から、研修会や情報交換会には積極的に参加するようにしました。

(3) 各事業の連携

・職員会議や地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、包括職種による 5 職種会議を実施し、業務の進捗状況や部署ごとの取り組みを共有する事で、事業や行事等の協力体制も図りました。地域の行事にも積極的に参加しています。

・個別ニーズの対応についても、情報共有を通じて柔軟な対応ができるよう、心がけました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・職員が地域の方や地域団体、事業者に対して、常に公正・中立な立場で業務にあたるよう、努めてきました。特に地域包括支援センターにおいては、介護保険事業所をはじめ外部との連携も多い部門である事から、公正・中立性の意識を強く持ち、相談対応時等もホームページを活用して、複数の情報提供をおこないながら、相談者が自己選択出来るような支援を心がけました。
- ・介護保険事業については、該当部署職員が通所介護・ケアマネジャー連絡会への参加により情報共有や関係作り、専門職としての知識向上に努めました。
- ・職員がより専門的な知識を持って業務にあたる事が出来るよう、内部研修・外部研修や、各連絡会等へ積極的に出席をしてきました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・地域の福祉保健団体等と連携をし、地域ニーズの把握や情報共有をする事で、事業への展開やネットワーク作りに繋げました。また、区役所や社会福祉協議会との会議や民児協、青葉ふれあい見守り事業、老人会への参加を通じて、顔の見える関係作りの構築を目指しました。

(6) 区行政との協働

- ・地域福祉保健計画・地区別計画については、目標の達成に向けて区役所や区社会福祉協議会、地域の関係者と連携を図り、事業の推進や地域課題の解決に向けて取り組みました。
- ・障がい者の方への支援に向けて、区役所や関係機関と情報交換・共有をし、事業への協力をおこないました。引き続き、関係機関と協力をしながら事業展開をすすめていきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・子どもから高齢者までふれあう場づくりとして、ガーデニング講座「たねダンゴでおもてなし」を地域住民の協力を得ながらおこないました。事業実施後も定期的に集まり、花壇作りを通して交流を持っています。
- ・エリア内の高齢者施設と共催で「誰でもコンサート」を開催し、障害の有無に関わらず、子育て世代から高齢者まで参加できる内容でおこないました。参加をきっかけに、ボランティアによるサロンや広場に繋げる事が出来ました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・貸館利用促進のため、空室が多い日曜、祝日、夜間については広報誌や、申し込みの際に案内をおこなっています。
- ・趣味活動の登録団体へ、ボランティア活動のきっかけとして、各種講座やサロン、カフェ等の担い手として参加を案内し、コーディネートをしました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・貸館利用団体、ボランティア向けに、交流会を開きお互いの活動と抱えている課題や、今後の展開等も伝えあう事で、貸館利用団体がサロンや親子ひろば、地域のお祭りでボランティアするなど活動が広がりました。
- ・日常生活の困り事を支援する「ちょこボラ」については、会議に事務局として参加しました。次年度は更にボランティア活動が地域に浸透するように、コーディネートをしていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・毎月更新するケアプラザのホームページや広報誌で、事業紹介の他、地域住民主体の活動紹介をおこないました。
- ・自治会、町内会、各活動団体の会議やミーティング、イベントに出向き、得た情報を所内で共有しながら課題を整理し、地域活動のボランティアが増えるように、案内、調整をおこないました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・月1回生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター、包括3職種で事業実施に対する取り組みの進捗状況の確認、検討をおこないました。
- ・地域福祉保健計画であがった地域課題を地域の方と話し合う事ができ、今後、課題解決に向けて継続していくよう努めます。
- ・包括カンファレンスや「かもマチ食堂」に参加する事で、個々に抱える課題を確認しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・区役所、区社会福祉協議会と連携し、地域アセスメントをおこないました。地区の地図を用いて、情報を見える化し、資源の把握、分析をおこないました。
- ・地域の様々な行事、活動、集まりの場に他職種と複数人で出向き、活動者、参加者の声を聞き、ニーズの把握に努めました。
- ・地域町内会の掲示板を何度も見に行き、確認する事で新たな地域資源の発見に努めました。

(3) 連携・協議の場

- ・5職種会議を持ち、現状の取り組みに対する進捗状況の確認、さらには検討をおこないました。
- ・月1回の生活支援コーディネーター連絡会に参加し、区役所、区社会福祉協議会、区内の生活支援コーディネーターと情報の共有をおこない、今後の活動の参考にしました。
- ・地域や学校の行事には他職種の職員と複数人で積極的に参加し、顔の見える関係づくりに努めました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・より広域の地域課題の解決についても、個別のニーズや課題を丁寧に解決していく事と考え、包括カンファレンスに参加して、個のニーズ・課題把握に努めました。
- ・区役所、区社会福祉協議会、1層生活支援コーディネーター、区内の2層生活支援コーディネーターと事業推進のための情報共有を図り、広域な地域課題も意識して把握に努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・地域の社会資源である介護保険事業所や薬局には年数回事業所訪問をして、事業案内や会議の出席依頼等重ねながら、顔の見える関係づくりをすすめました。
- ・所長や地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと共に、地域の会合やイベントには出来る限り出席をしています。ケアプラザや包括のPRに努めた事で、会合への出席依頼も徐々に増えたため、所内での情報共有や報告を密におこないました。
- ・地域ケア会議にエリア内の介護保険事業所や薬局、民生委員に出席して頂いた事がきっかけとなり、昨年度より不定期開催ですが、エリア内の介護保険事業所、民生委員を対象とした勉強会を実施しました。勉強会を通じてエリア内での交流も図る事が出来るよう、今後も継続していく予定です。

② 実態把握

- ・毎年の相談件数と区役所の統計資料、日々の相談内容等を合わせながら、地域ケア会議の事例やテーマを選定しました。また、ケアプラザ内で各種会議や日々の業務内での情報交換、様々な話からの確かな情報収集に努めました。また、区役所高齢者支援担当と地区診断シートを作成しました。
- ・地域ケア会議や関係機関との情報交換から、他事業所と連携して、たちばな台で介護予防の事業を実施しました。

③ 総合相談支援

- ・対象者や相談者の個別性に応じた細やかな対応や、プライバシーに配慮した相談体制を常時心がけました。最新の相談内容が把握出来るよう、職員間の引き継ぎや記録の確認をはじめ、包括3職種それぞれの専門性を活かした支援が出来るよう、日々の申し送りやカンファレンスで話し合いをしました。
- ・対象者の個別性に応じて、フォーマル・インフォーマル共に必要な情報や資料が提供出来るよう、資料は種類別に保管しています。相談時には、対象者がイメージしやすい言葉や表現で説明するよう、包括内で統一しています。
- ・一旦終了した相談事例・継続事例共に、すぐ確認出来るように保管しています。必要に応じての訪問や電話対応、民生委員との連携等で状況確認をおこないました。
- ・相談内容の緊急性(虐待や急変時等)に応じて、区役所や各関係機関と連携をしながら、速やかな調整・対応をしました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・区役所やケアマネジャーと連携をしながら、成年後見制度の申立てに繋げた事例もあります。認知症の方については、随時関係機関と連絡を取り合っています。
- ・「今後の備えのために知っておきたいこと」という題目で連続講座を開催しました。行政書士の方を講師に招き、遺言・相続や成年後見制度について講座を実施しました。ケアマネジャーからの相談が入った際には、必要に応じて同行訪問や情報提供をし、状況把握に努めました。
- ・今年度も区長申立が必要と思われる事例はありませんでしたが、複数の検討事項がある場合には、区役所にも随時相談をし、面談時に同席して頂いています。
- ・メモ用紙等の媒体を使用し、講座や老人会の会合で消費者被害防止の啓発活動をおこないました。特に独居の方や高齢者世帯については、訪問時に状況確認や消費者被害についての情報提供をしました。

② 高齢者虐待への対応

- ・気になる事例や継続して関わっている事例については、ネットワークミーティングを実施し、今後の見通しを踏まえながら次のミーティング時期を決め、区役所と一緒に対象者やケアマネジャー、介護保険サービス事業所と関わっています。緊急性の高い事例は、関係者間でタイムリーな情報共有ができるよう、こまめに連絡を取り合い、医療機関をはじめ必要な支援へ速やかに繋げました。
- ・養護者への支援についても、関係機関と話し合いをして役割分担をしながら対応しました。

③ 認知症

- ・認知症に関する相談が増えている状況や地域福祉保健計画を踏まえ、地域ケア会議では認知症の事例をテーマに選定しました。継続的に話し合いの機会を作る事で「認知症への正しい理解」が地域に広まるよう、他の会議や取り組みとの連動も考えながら、実施しました。
- ・医療・介護サービスに繋がらないケースについては、認知症初期集中支援チームとの連携や、もの忘れ相談、オレンジガイドの活用等、個別に応じた対応をしました。
- ・ケアマネジャーから相談を受けて同行訪問をし、対象者の状況に応じて「はいかい高齢者安心ネットワーク」の情報提供や申込みの支援をしました。
- ・「介護者のつどい」は年8回開催しており、介護者が参加しやすい場となるような雰囲気作りに努めました。次年度より出張相談も企画しており、気軽に話が出来る場作りに繋げていきたいと考えています。
- ・地域の小中学校や一般向けに、認知症サポーター養成講座を実施しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・インフォーマルサービスについては、社会福祉士が作成している「あおば生活情報」や、ケアプラザで取りまとめている媒体を使用し、対象者の個別性に応じて情報提供をしました。相談対応や事業所訪問の時など、必要に応じて配布できるよう、ファイリングをしています。
- ・地域ケア会議や、エリア内の介護保険事業所、民生委員を対象とした勉強会を実施しました。グループワークを通じて、エリア内で職種を越えた顔見知りが増え、ネットワーク構築にも繋がっていく事を目指しています。
- ・青葉ふれあい見守り事業、民生委員児童委員協議会、地区別推進会議等への参加により継続した関係づくりに努めました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・毎年、近隣の包括と合同で、ケアマネジャーと訪問看護、薬剤師、在宅医療連携拠点を対象とした意見交換・勉強会を開催しています。今年度は病院のMSWも招き、「それぞれの業務を理解しよう」というテーマでグループワークを実施しました。医師との連携については、ケアマネジャー連絡会で毎年1回開催しています。
- ・エリア内の薬局に訪問し、勉強会の案内や地域ケア会議への参加を依頼しました。
- ・在宅医療連携拠点とは随時連絡を取り合い、包括カンファレンスや地域ケア会議への出席を依頼しています。包括3職種の医療連携チーム会議にも出席を依頼し、1月には共催で事例検討会を企画しています。区民向け講演会への協力をしました。

③ ケアマネジャー支援

- ・事業所訪問や各種連絡会で顔を合わせた時、電話連絡でケアマネジャーと話をする機会に情報交換をして、包括カンファレンスの企画や日々の業務に活かす事を目指しています。また、同行訪問をしたり継続的に話を伺ったりと、ケースに応じた相談対応をしています。
- ・支援困難ケースに限らず、相談については随時対応しています。区役所と連携を図りながら、同行訪問や担当者会議への出席、地域ケア会議の開催を通じて、ケアマネジメント支援に繋がるような視点を持ち、関わっていきました。
- ・新任ケアマネジャー支援として、区内の地域包括支援センター主任ケアマネジャーと共働で、実習や研修会を実施し、個別には3名担当をしました。
- ・青葉区ケアマネジャー連絡会に出席し、運営をサポートしました。連絡会と協力し合い、主任ケアマネジャー企画の研修も年2回実施しました。
- ・近隣包括合同と、区内合同で、介護予防従事者研修を2回実施しました。ICFをテーマとし、自立支援に向けたケアプラン作成に繋がるような内容を区と担当で企画をしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域ケア会議については、テーマに応じて多職種の方に参加して頂けるよう、日程調整や事例選定をし、区役所と包括で事前打ち合わせの上、開催しました。
- ・地域ケア会議で取り上げているテーマと地域福祉保健計画が重なる部分もあり、今後の取り組みや多職種との繋がりを作る機会として、区役所やケアプラザ内でも随時話し合いと情報の擦り合わせをしながら、すすめていきました。
- ・地域づくりや資源開発に取り組むにあたり、ケアプラザ職員をはじめ、多職種のスキルアップが必要と考えています。ケアプラザ勉強会の場を活用し、今後は様々なテーマで勉強会を予定しています。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・平成29年度では、事業対象者の該当がありませんでした。
- ・要支援者に対しては、目標指向型の介護予防ケアマネジメントに向けて、主体性・意欲を引き出せるような目標について話し合いを通して取り組んでいます。本人の意向（現状の維持、介護予防理念の理解不足）により難しい面を感じる事があります。
- ・介護予防給付以外にも、ちょこボラの利用や配食、ケアプラザ事業や元気づくりステーションへの参加、といった様々なサービスを状況に応じて利用に繋げる支援をおこなっています。
- ・平成29年でも区役所・区内全包括で、居宅介護支援事業所を対象に、介護予防従事者研修を、3職種で連携しながら企画・実施しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・地区社会福祉協議会主催のすこやかお食事会では、区役所・高齢者支援担当と交代で講話の機会を継続しました。
 - ・ケアプラザ内ラウンジで週1回開催されている「皆で!はまちゃん体操」に包括保健師が参加した時には、ハマトレの実施にも取り組みました。
 - ・ケアプラザ以外にも、たちばな台地区の「まちなかクラブ」で健康づくり講座の実施や老人会で区役所高齢者支援担当と共にハマトレを実施しています。
- あおばイキイキ!!元気塾「鴨ちゃん健康クラブ」を月1回で実施しました。参加者が徐々にではありますが増加しています。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・施設管理者の責務として定められた施設・設備の点検と不具合の早期発見、把握に努めました。利用者が安心・安全・快適に利用できる施設の維持管理が出来るよう、修繕が必要な箇所については区役所と協議をし、修繕に繋げました。また、車の出入りが安全におこなえるよう、表示や白線の再整備も実施しました。
- ・電気・ガス・エレベーター・消防等の設備、保守管理は、専門業者に委託し、施設の適正管理に努めました。
- ・施設周りの景観については、地域の方々にご協力を頂きながら植栽管理をおこない、四季を楽しめるような環境作りに努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・指定管理者として、地域ケアプラザが地域の方々に安心して利用して頂けるよう、良好な状態が維持出来るよう、施設や設備の維持管理に努めました。
- ・予算の範囲内でケアプラザ運営をするために、設備、備品、消耗品等は相見積を取り、適正な価格での購入と経費削減に努めました。運営費が軽減されるよう組織的に取り組み、職員には効率的な物品購入など、コスト意識を徹底しました。

(3) 苦情受付体制について

- ・苦情解決責任者が所長、各部門の管理者を苦情受付窓口として、館内に掲示しています。ご利用の皆様からのご意見、ご要望、また苦情等に対しては、迅速な対応を心がけました。苦情に限らず、頂いたご意見については真摯に受け止め、より良いケアプラザ運営に活かしていくよう、職員で共有しました。
- ・法人では「第三者委員会」を設置しています。要望、苦情に係る指導や助言を頂き、様々な視点から、利用者の立場に立った問題解決に向けての取り組みをおこないました。
- ・ケアプラザ 1F ラウンジにご意見箱を設置しています。H29 年度はご意見を頂く事はありませんでした。利用者が記入・投函しやすいよう、設置場所にも配慮をしています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・災害時福祉避難所として、地域の方々に周知をしていくとともに、実際に災害が起きた場合を想定して、開設準備マニュアルを職員で確認し災害に備えました。また、応急備蓄品は在庫の確認や入れ替えをして、引き続き適切に管理していきます。
- ・防災マニュアル・消防計画を見直し、必要に応じて加筆修正をおこないました。また、消防計画に基づいて避難訓練、消火訓練を年 2 回実施しました。地域の防災訓練にも参加し、地域と共に災害への心構えを身に付けていきます。
- ・日頃から施設の防犯を心がけ、館内の巡視点検を実施しています。また、閉館時は機械警備を専門業者に委託しています。

(5) 事故防止への取組について

- ・施設で生じたヒヤリハット事例や事故については全職員で共有しました。まずは常勤職員で事故の原因を見出し、改善への具体的な対策について検討する事で、再発防止を目指しました。
- ・区役所や所長会で報告の上がった事故報告などを朝礼や回覧を使い職員に周知し、事故防止に対する意識の向上と防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・法人が定める「個人情報保護規程」や「横浜市鴨志田地域ケアプラザ個人情報マニュアル」に基づき、個人情報保護に関する書類の管理や使用方法を徹底しました。
- ・全職員に対して入職時と年2回は研修を実施し、その他朝礼等の場で細心の注意を払って業務にあたるよう、指導しました。
- ・ご利用者の記録等や個人情報が記載されている書類等に関しては、部署ごとに施錠ができる書棚で管理し、鍵の管理も定期的を確認しました。
- ・パソコンについてはワイヤー固定と異なるパスワードを設定する事で、セキュリティ管理と盗難防止策を講じており、随時施錠確認を実施しました。
- ・外出時・訪問時は出来る限り書類を最小限にし、盗難防止への心構えも職員で共有しました。

(7) 情報公開への取組について

- ・法人が定める「情報公開に関するマニュアル」に沿い対応しました。
- ・法人の運営状況については、ホームページで公開し、館内掲示等で周知しました。
- ・ケアプラザ広報誌を月1回発行し、情報を発信しています。タイムリーに広報誌が町内で回覧してもらえよう、配布時期のズレを考慮して、情報掲載をおこないました。また、情報発信にはホームページも活用しました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・全職員を対象として、ひとりひとりがケアプラザの職員としての自覚を持ち、業務にあたる為に、法人の倫理規定に基づき、内部研修を実施しました。
- ・小中学校でおこなわれる認知症サポーター養成講座の時、人権啓発にも繋がるような働きかけをしました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・利用者が安心・安全・快適に利用出来る範囲で、不要な電気を消灯しました。また、空調については、窓開けやブラインドの利用、クールビズ、ウォームビズで対応し、冷暖房の効率化を図りました。
- ・地域の方の協力や専門業者による植栽管理をおこない景観美化に努めました。
- ・横浜市のG30「ヨコハマ3R夢」に積極的に取り組み、ゴミの減量化・資源化・省エネ・緑化の推進に努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- 主任ケアマネジャー 1名
- 社会福祉士 1名
- 保健師 1名

《目標に対する成果等》

- ・公正中立な立場として情報提供をおこない、利用者の選択に基づいて、適切なサービスが確保されるよう、関係機関との連絡調整等に取り組みました。
- ・担当地域の対象に対し、可能な限り在宅で自立した日常生活を送れるよう、関係法令等に基づき、必要な介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに取り組みました。
- ・介護予防支援、介護予防ケアマネジメントにおいては、利用者の主体的な活動と意欲を高めることが出来るよう、訪問時やサービス担当者会議での関わりを心がけました。
- ・地域包括支援センター内でも、密な連携、情報交換、共有をおこない、相談から支援計画の作成、サービスの利用まで、出来るだけスムーズな対応を心がけていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
77	79	79	82	81	84
10月	11月	12月	1月	2月	3月
86	85	87	88	88	89

●居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 介護支援専門員 3名（常勤専従1名 常勤兼務1名 非常勤専従1名）

《目標に対する成果等》

- ・サービス事業所と顔の見える関係を築くために、近い事業所について、書類は出来る限り手渡しで持っていくように努めました。また、本人の状態の変化についても密に連絡を取り合い、情報共有に努めました。
- ・職員1人1人の個のスキルアップのために、職員研修、包括カンファレンス、ケアマネジャー連絡会等には積極的に参加しました。
- ・職員間の連携も密にし、担当者が不在の時にも、他のケアマネジャーが対応出来るよう業務の時から情報共有に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

区役所や地域包括支援センターと迅速に連絡を取る事で、利用者の相談も速やかに解決することが出来ました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
61	58	54	54	53	44
10月	11月	12月	1月	2月	3月
45	43	44	42	41	43

● 通所介護

《提供するサービス内容》

●《提供するサービス内容》

- 生活指導 ●機能訓練 ●介護サービス ●健康状態の確認
●送迎 ●給食 ●入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

I. 介護報酬にかかる費用

（利用者負担：介護保険負担割合証に定められた負担割合を適用）

区分	現在の介護度	通常規模単位（金額）		内容の説明
		1割	2割	
A 基本額	要介護1	656 単位（704 円）	1,312 単位（1,407 円）	7 時間以上 9 時間未満のサービス提供に対する 1 回あたりの料金
	要介護2	775 単位（831 円）	1,550 単位（1,662 円）	
	要介護3	898 単位（963 円）	1,796 単位（1,926 円）	
	要介護4	1,021 単位（1,095 円）	2,042 単位（2,189 円）	
	要介護5	1,144 単位（1,227 円）	2,288 単位（2,453 円）	
B 加算額	入浴介助体制加算（選択加算）	50 単位（54 円）	100 単位（108 円）	1 日につき
C 加算額	認知症加算（対象者のみ）	60 単位（65 円）	120 単位（129 円）	1 日につき
D 加算額	サービス提供体制強化加算（Ⅱ）（基本加算）	6 単位（7 円）	12 単位（14 円）	1 日につき
E 加算額	介護職員処遇改善加算（Ⅰ） 介護報酬総単位数（A+B+C+D）×5.9%×10.72 の <u>1割又は2割負担</u>			1 月につき
利用額	A+B+C+D+E			

※送迎減算：事業所が何らかの理由で送迎をおこなわなかった場合、負担額より片道 47 単位（504 円）を、減算します。

II 運営基準で定められた「その他の費用」（利用者全額負担分）

・食費負担（おやつ含む） 700 円/日

《事業実施日数》 週 6 日・祝日含む（月～土）

《提供時間》 9：45 ～ 16：45

《職員体制》・管理者 1 名・生活相談員 2 名

・看護職員 5 名・介護職員 13 名・機能訓練指導員 4 名

《目標に対する成果等》

・早退や提供途中からの利用希望が多くありましたが、その都度要望に応えられるよう調整し受け入れをしてきました。

・利用者や職員への臨時アンケートを実施し、利用者に何が出来るかを考え希望されているレクリエーションなどを取り入れてきました。その中でも、カルチャーとして書道やデッサンを H30 年度より実施出来るように地域の方へ依頼し、準備をおこないました。

・手作りおやつを会議で話し合い、見直しをしました。利用者に昔懐かしいおやつを、回想し楽しんで召し上がって頂けるよう提供しました。

・座位中心の体操から立位での体操に切り替えがおこなえるように研修などへ参加し、学んだ事を取り入れ実施しています。現在はコグニサイズも取り入れ体操にも力を入れております。

・在宅生活を支援するため、重度の方の受け入れをおこないました。また、送迎時の階段昇降介助もおこない、家族の要望に出来る限り応えてきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・ケアプラザの特色でもある地域の方との交流の場を提供しています。お話し相手・麻雀・将棋・囲碁などの趣味活動ボランティアや音楽を演奏して頂くボランティア各団体との交流等を深める事が出来ています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
387	435	428	428	407	411
10月	11月	12月	1月	2月	3月
432	417	380	415	409	453

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導 ●機能訓練 ●介護サービス ●健康状態の確認
- 送迎 ●給食 ●入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

I 介護報酬にかかる費用

（利用者負担：介護保険負担割合証に定められた負担割合を適用）

区分	介護度	通常規模単位（金額）		内容の説明
		1割	2割	
A 基本額	要支援1 週1回まで	1,647単位 (1,766円)	3,294単位 (3,532円)	7時間以上9時間未満のサービス提供に対する1カ月あたりの料金
	要支援2 週1回利用 (第1号通所事業対象者)	1,647単位 (1,766円)	3,294単位 (3,532円)	
	要支援2 週2回利用	3,377単位 (3,621円)	6,754単位 (7,241円)	
B 加算額	要支援1 週1回利用	24単位 (26円)	48単位 (52円)	1月につき
	要支援2 週1回利用	24単位 (26円)	48単位 (52円)	
	要支援2 週2回利用	48単位 (52円)	96単位 (103円)	
C 加算額	介護職員処遇改善加算 (I)	介護報酬総単位数(A+B) ×5.9%×10.72の 1割又は2割負担		1月につき
利用額	A+B+C			

II 運営基準で定められた「その他の費用」（利用者全額負担分）

- ・食費負担（おやつ含む） 700 円/日

《事業実施日数》 週6日・祝日含む（月～土）

《提供時間》 9：45 ～ 16：45

《職員体制》

- ・管理者1名・生活相談員2名
- ・看護職員5名・介護職員13名・機能訓練指導員4名

《目標に対する成果等》

- ・毎日、その日のニュースや出来事をお伝えし社会交流に役立てられるよう情報提供の時間を設けました。利用者も自ら、今日は何の日かを調べて発言するようになりました。
- ・自宅でも簡単なおやつ作りや料理が出来るようにレクリエーションの時間に企画をおこない実施。熱中症対策としてゼリーも作成し、自宅での熱中症予防を意識して頂けるように努めました。
- ・立位での体操を取り入れる事により、その方にあった可動域訓練や身体機能が向上出来るように取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ケアプラザの特色でもある地域の方との交流の場を提供しています。お話し相手・

麻雀・将棋・囲碁などの趣味活動ボランティアや音楽を演奏して頂くボランティア各団体との交流等を深める事が出来ています。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
5	5	5	5	5	5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	5	6	5	5	5

平成29年度「横浜市鶴田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,347,000	△ 337,156	14,009,844	14,009,844	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	1,044,540	△ 1,044,540	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,337,000	△ 337,156	17,999,844	19,044,384	△ 1,044,540	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,713,000	0	10,713,000	11,950,844	△ 1,237,844	
本俸	6,700,000		6,700,000	7,888,291	△ 1,188,291	精算書内訳1-(1)参照
社会保険料	800,000		800,000	837,220	△ 37,220	精算書内訳1-(1)参照
手当計	2,330,000		2,330,000	2,334,584	△ 4,584	精算書内訳1-(1)参照
健康診断費	43,000		43,000	43,941	△ 941	精算書内訳1-(1)参照
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	840,000		840,000	841,246	△ 1,246	精算書内訳1-(1)参照
その他	0		0	5,562	△ 5,562	精算書内訳1-(1)参照
事務費	1,000,960	0	1,000,960	750,925	250,035	
旅費	10,000		10,000	7,820	2,180	会議・研修参加時交通費
消耗品費	300,000		300,000	161,579	138,421	コピー用紙、プリンター用紙ほか
会議随時費	0		0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	57,758	2,242	コピーカウンター料、広報印刷代
通信費	120,000		120,000	114,190	5,810	電話料金・インターネット接続料
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	0	30,000	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	3,445	1,555	個人情報漏洩、感染症見舞、業務中傷害
職員等研修費	5,000		5,000	2,625	2,375	安全運転管理者講習、食品衛生管理者講習
振込手数料	2,000		2,000	1,414	586	職員健康診断、市社協会費、青葉区社協会費振込手数料
リース料	40,000		40,000	34,533	5,467	コピー機リース、AEDリース、玄関マットリース
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	50,000		50,000	0	50,000	
その他	368,960		368,960	367,561	1,399	ガソリン代、自動車保険料
事業費	392,000	0	392,000	1,531,327	△ 1,139,327	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,721	31,279	予算：指定額
指定管理料充当 事業	350,000		350,000	1,520,606	△ 1,170,606	事業講師料ほか
管理費	5,374,000	0	5,374,000	5,292,482	81,518	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	3,070,000	0	3,070,000	3,333,908	△ 263,908	
電気料金	1,000,000		1,000,000	1,084,407	△ 84,407	
ガス料金	1,000,000		1,000,000	952,108	47,892	
水道料金	1,070,000		1,070,000	1,297,393	△ 227,393	
清掃費	830,000		830,000	831,119	△ 1,119	日常・定期清掃
修繕費	474,000	0	474,000	136,844	337,156	予算：指定額
機械整備費	315,000		315,000	315,343	△ 343	機械整備
設備保全費	525,000	0	525,000	510,765	14,235	
空調衛生設備保守	110,000		110,000	102,726	7,274	空調設備保守
消防設備保守	60,000		60,000	57,336	2,664	消防設備保守
電気設備保守	0		0	0	0	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	35,000		35,000	32,491	2,509	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	320,000		320,000	318,212	1,788	自動扉・昇降機保守ほか
雑費	0		0	0	0	
その他	160,000		160,000	164,503	△ 4,503	植栽剪定・ごみ回収ルート費用
公租公課	857,040	0	857,040	956,067	△ 99,027	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	857,040		857,040	956,067	△ 99,027	人件費消費税相当
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一三対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,337,000	0	18,337,000	20,481,645	△ 2,144,645	
差引	0	△ 337,156	△ 337,156	△ 1,437,261	1,100,105	

自主事業費収入	350,000		350,000	0	350,000	予算：指定管理料に含む	
自主事業費支出	350,000		350,000	1,520,606	△ 1,170,606	事業講師料ほか	
自主事業収支	0	0	0	△ 1,520,606	1,520,606	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	0	

**平成29年度「横浜市鴨志田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,315,000	△ 215,627	23,099,373	23,099,373	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 4,150,371	1,638,629	1,638,629	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	29,255,000	△ 4,365,998	24,889,002	24,889,002	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,534,000	0	25,534,000	20,798,490	4,735,510	
本俸	16,084,000		16,084,000	11,432,484	4,651,516	精算書内訳1-(2)参照
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,877,554	122,446	精算書内訳1-(2)参照
手当計	6,000,000		6,000,000	6,049,237	△ 49,237	精算書内訳1-(2)参照
健康診断費	45,000		45,000	43,619	1,381	精算書内訳1-(2)参照
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	360,000		360,000	351,096	8,904	精算書内訳1-(2)参照
その他	45,000		45,000	44,500	500	精算書内訳1-(2)参照
事務費	1,000,000	0	1,000,000	688,035	311,965	
旅費	50,000		50,000	44,470	5,530	会議・研修参加時交通費
消耗品費	300,000		300,000	228,532	71,468	コピー用紙・事務用品・日用品
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	47,281	2,719	資料等印刷・名刺代
通信費	120,000		120,000	116,735	3,265	電話料金・インターネット接続料
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	0	50,000	
図書購入費	20,000		20,000	0	20,000	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,067	933	個人情報漏洩・感染症見舞い・業務中傷害
職員等研修費	10,000		10,000	2,625	7,375	安全運転管理者講習・食品衛生管理者研修
振込手数料	150,000		150,000	11,812	138,188	協力医謝金振込手数料ほか
リース料	40,000		40,000	34,533	5,467	コピー機リース・AEDリース・玄関マットリース
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	207,000		207,000	199,980	7,020	ガソリン代・自動車保険・市社協等会費
事業費	1,290,000	0	1,290,000	651,417	638,583	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	200,000		200,000	31,660	168,340	講師料ほか
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	108,712	42,288	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	7,045	301,955	予算:指定額
管理費	1,431,000	0	1,431,000	1,406,852	24,148	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	805,000	0	805,000	886,228	△ 81,228	
電気料金	260,000		260,000	288,259	△ 28,259	
ガス料金	260,000		260,000	253,092	6,908	
水道料金	285,000		285,000	344,877	△ 59,877	
清掃費	230,000		230,000	220,929	9,071	日常清掃ほか
修繕費	126,000		126,000	36,373	89,627	予算:指定額
機械警備費	85,000		85,000	83,825	1,175	機械警備費
設備保全費	140,000	0	140,000	135,768	4,232	
空調衛生設備保守	30,000		30,000	27,306	2,694	空調機器保守
消防設備保守	15,000		15,000	15,240	△ 240	消防設備保守
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,636	1,364	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	85,000		85,000	84,586	414	自動扉・昇降機保守ほか
共益費	0		0	0	0	
その他	45,000		45,000	43,729	1,271	植栽剪定・ごみ回収ルート費用
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,255,000	0	29,255,000	23,544,794	5,710,206	
差引	0	△ 4,365,998	△ 4,365,998	1,344,208	△ 5,710,206	

自主事業費収入	660,000			0		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	660,000			147,417		
自主事業収支	0			△ 147,417		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **鴨志田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
新春囲碁大会	地域住民	25000	地活	25000			25000		
	25名		包括						
	1000円		生活						
ボランティア交流会	地域住民	15502	地活	15502	0		15502		
	38名		包括	0	0				
	0円		生活	0	0				
ボランティア研修会	地域住民		地活						
	9名		包括						
	0円		生活						
みのり世代の健康講座	主に高齢者		地活						
	15名		包括						
	0円		生活						
えいごの部屋	小・中学生		地活						
	35名		包括						
	0円		生活						
立ち雑を作ろう！	地域住民	7000	地活	3000	4000		7000		
	1200円		包括	0					
	5名		生活	0					
親あるうちの準備講座	地域住民		地活						
	53名		包括						
	0円		生活						
みんなでウォーキング！ 落ち葉を踏みながら歩こう	地域住民	840	地活	840				840	
	47名		包括	0					
	300円		生活	0					
ペーパークラフト講習会	地域住民	3000	地活	3000			3000		
	6名		包括						
	500円		生活						
はまちゃん体操特別編	高齢者		地活						
	14名		包括						
	0円		生活						
健康づくり講座	高齢者		地活						
	8名		包括						
	0円		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		2303494		474854	1828640		356000	1946442	1052

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **鴨志田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
悠夕みのりサロン	主に高齢者	77675	地活	56375	21300		26000	51675	
	122名		包括	0					
	500円		生活	0					
書を楽しむ会	地域住民	169352	地活	352	169000			169352	
	166名		包括	0					
	6000円		生活	0					
かもマチ食堂	地域住民	276600	地活	0	276600			276600	
	972名		包括	0					
	100円～300円		生活	0					
地域交流デー	地域住民	15228	地活	1228	14000			15228	
	180名		包括	0					
	100円		生活	0					
たねダンゴでおもてなし	地域住民	40526	地活	23726	16800		27000	13526	
	28名		包括	0					
	1200円		生活	0					
誰でもコンサート	地域住民	0	地活	0					
	38名		包括	0					
	0円		生活	0					
初心者向け囲碁教室	地域住民	31964	地活	5964	26000			31964	
	192名		包括	0					
	2000円		生活	0					
にこにこ！健康マージャン教室	地域住民	34415	地活	8415	26000			34415	
	223名		包括	0					
	2000円		生活	0					
食中毒・感染症についての講習会	地域住民	0	地活	0					
	47名		包括	0					
	0円		生活	0					
懐かしのうたごえ広場	主に高齢者	0	地活	0					
	67名		包括	0					
	0円		生活	0					
夏季囲碁大会	地域住民	25000	地活	0	25000			25000	
	25名		包括	0					
	1000円		生活	0					
健康マージャン大会	地域住民	16028	地活	28	16000			16028	
	19名		包括	0					
	1000円		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **鴨志田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
畑プロジェクト	地域住民	105032	地活	24032	81000			105032	
	862名		包括	0					
	6000円		生活	0					
シルバーリハビリ体操	高齢者	92212	地活	29212	63000		92000		212
	119名		包括	0					
	3000円		生活	0					
体操教室ひまわり	高齢者	36000	地活	0	36000			36000	
	211名		包括	0					
	3000円		生活	0					
鴨志田ウォーキングクラブ	地域住民	8081	地活	81	8000			8081	
	111名		包括	0					
	500円		生活	0					
リフレッシュエアロ	地域住民	130600	地活	85000	45600		120000	10600	
	171名		包括	0					
	300円		生活	0					
鴨志田囲碁倶楽部	地域住民	0	地活	0					
	1260名		包括	0					
	0円		生活	0					
小児救命救急講座	子育て	0	地活	0					
	37名		包括	0					
	0円		生活	0					
はまちゃん体操	主に高齢者	0	地活	0					
	532名		包括	0					
	0円		生活	0					
カフェひるがお	地域住民	12758	地活	3458	9300			12758	
	173名		包括	0					
	100円		生活	0					
歴史さんぽを楽しむ会	地域住民	0	地活	0					
	153名		包括	0					
	0円		生活	0					
夏休み！子どもコラージュ	主に小学生	5400	地活	0	5400			5400	
	18名		包括	0					
	300円		生活	0					
認知症サポーター養成講座	地域住民	0	地活	0					
	85名		包括	0					
	0円		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **鴨志田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
デッサンから学ぼう	地域住民	101000	地活	0	101000			101000	
	202名		包括	0					
	500円		生活	0					
絵手紙教室	地域住民	36000	地活	0	36000			36000	
	29名		包括	0					
	300円		生活	0					
布あそび	地域住民	120000	地活	0	120000			120000	
	110名		包括	0					
	1000円		生活	0					
鴨のお茶の間	地域住民	32561	地活	17761	14800			32561	
	110名		包括	0					
	100円		生活	0					
お茶の手習い	地域住民	34500	地活	0	34500			34500	
	69名		包括	0					
	500円		生活	0					
くらしのいけばな花あそび	地域住民	121600	地活	0	121600			121600	
	152名		包括	0					
	800円		生活	0					
唄声喫茶	地域住民	392875	地活	122975	269900		43000	349875	
	914名		包括	0					
	300円		生活	0					
ケアプラザフェスタ	地域住民	222563	地活	69323	153240			222563	
	300名		包括	0					
	100円～200円		生活	0					
サロン健康マージャン	地域住民	0	地活	0					
	811名		包括	0					
	0円		生活	0					
笑和会	主に男性	51927	地活	7427	44500			51927	
	96名		包括	0					
	500円		生活	0					
鴨のお楽しみ会	地域住民	14255	地活	155	14100			14255	
	46名		包括	0					
	300円		生活	0					
鴨志田フォトクラブ	地域住民	48000	地活	0	48000		48000	0	
	177名		包括	0					
	1000円		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ペーパークラフト講習会	講師は地域住民が担い活躍する場、ボランティア活動のきっかけとしておこないました。他事業の参加者のリクエストにより、作品の選定等を講師と参加者が話し合いながらおこない、親睦を図ることができました。	6月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はまちゃん体操特別編	介護予防を目的に、理学療法士による足の健康についての講習会をおこないました。日頃体操やサロンに参加されている高齢者向けに、体操後に実技指導をおこなったことで、家族等を含めて、日々の生活に活かせる実施内容で出来ました。	夏・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり講座	エリア内の活動場所を利用して、地域包括支援センターと高齢者施設による、介護予防目的の出張講座。高齢者施設、関連事業所職員が出向き、講師をつとめることで、事業所の役割、機能を知っていただく機会にもなりました。	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
えいごの部屋	地域住民、貸館利用者による、英語を通じた交流事業。シニアの方の協力により、地区の小・中学生と住民の交流を持つ機会となっています。	月 2 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
立ち雛を作ろう！	地域住民の申し出により行なった、交流事業。企業から貰い受けた折り紙等を使って、手作りの雛人形を作成しました。講師、参加者が親睦を図る機会となりました。	1 月・ 2 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親あるうちの準備講座	障害者支援関係機関と共催で、障害者とその家族向けの支援事業。当プラザでは、障害者年金、手帳の取得、障害サービスを利用するまでの具体的な手続き方法を説明。そのほか、余暇支援事業に関するアンケートの実施を通じて、ニーズの把握をおこないました。	7 月・ 1 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなでウォーキング！落ち葉を踏みながら歩こう	隣接する区内ケアプラザとの合同事業。ウォーキングを通して同年代の仲間づくりを目的におこないました。コース選定、事前の下見等を参加者が行ない、親睦を図りながら行なうことが出来ました。	1 1 月・ 2 回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新春囲碁大会	地域住民の仲間づくり、ボランティア活動の普及啓発を目的に行ないました。企画から当日の会場設営、進行まで囲碁サロンの方が協力しながら行ないました。他事業のサポート役として活躍する機会も増え、地域活動へ興味・関心を持つ機会となっています。	1月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ボランティア同士の横のつながりを持つ機会としておこないました。ミニデイサービス、高齢者のお食事会、子育て広場、障害児者の活動ボランティア等の紹介後、茶話会にて活動の困りごとを話し合い、課題を互いに知り、解決に向けてアイデアを出し合うなど、横のつながりを深める機会となりました。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア研修会	ボランティア育成を目的におこないました。登録者は、住民によるサロン活動や近隣の施設等で活躍されています。	6月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みのり世代の健康講座	食生活改善推進員、区役所と共催で、シニア向けの食をテーマに健康講座をおこないました。1日の野菜摂取、減塩、栄養バランスのお話しと調理実習を通して、健康意識を高める機会となりました。	6月・1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食中毒・感染症 についての講習 会	地域住民による、サロンや広場等の日頃のボランティア活動に役立つ講習をおこないました。	2月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
懐かしのうたご え広場	歌を通しての地域住民の仲間づくりとして開催しました。ギター演奏に合わせて歌唱、休憩時間には近隣の方同士の情報交換の場になりました。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏季囲碁大会	貸館利用団体とケアプラザが協働で企画し、ボランティア活動のきっかけ、地域の仲間づくりを目的におこないました。事前準備、当日の会場設営、進行等参加者が協力しあいながらおこないました。	7月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康マージャン 大会	地域住民の交流を目的、ボランティア活動のきっかけとしておこないました。貸館利用団体、サロン参加者が共同で企画。実施しました。参加をきっかけに他の事業や活動を行き来する方もおり、地域住民の知り合う機会となっています。	3月・1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
たねダンゴでおもてなし	ケアプラザ周知、住民間の交流を目的におこないました。ガーデニング講習を通して、子育て世代から高齢者まで幅広く触れ合う場となりました。講習会後も定期的に集まり、継続してケアプラザ周辺の美化活動中です。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
誰でもコンサート	近隣の施設と共催し、地域の顔の見える関係づくりを目的におこないました。子どもからおとなまで、対象を絞らず、広く募集したことで、施設入居者、未就学児の親子参加もあり、多世代交流の場、近隣の施設紹介を設け、エリア内の横のつながりを深めることができました。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初心者向け囲碁教室	初心者向け囲碁教室。講師と見守りは囲碁倶楽部の方が担い、子どもから大人までが集まり、異世代交流の場となりました。	年16回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ！健康マージャン教室	地域住民の交流を目的におこなっています。貸館利用団体が協力者として当日の進行、アドバイザーを務めています。	年20回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
悠夕みのりサロン	主に高齢者対象の地域住民の知り合うきっかけ、孤立化を防ぎ関係を深めることを目的におこなっています。毎回食事作りの他、歴史、健康、防災等企画から参加者と共に考えコミュニケーションをとりながら開催しています。	月1回・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書を楽しむ会	書道をきっかけに地域住民の交流を目的におこなっています。講師は地域にお住まいの方が務め、近隣の情報交換の場にもなっています。	月2回・24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かもマチ食堂	子どもからおとなまで、孤立化を防ぎ、地域住民のつながりを深める目的でおこなっています。食事の用意を子どもと一緒にこなう、フロアでは折り紙、草笛、将棋、編み物などそれぞれ自由に過ごす時間が顔見知りになるきっかけとなっています。	月1回・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域交流デー	ボランティア同士のつながり、地域住民向けに活動紹介をおこないながら、多世代の交流を図っています。流しそうめんや絵手紙、お茶会、折り紙体験コーナーをつくり、子どもからおとなまで集う場となっています。	7月・1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カフェひるがお	地域作業所と連携し、障害者への理解を深め、住民との交流を図る目的で、おこなっています。場所は館内のラウンジを活用して、パンの販売と喫茶をボランティアが担い、開いています。	年23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歴史さんぽを楽しむ会	地域の歴史を学び、地域活動への興味関心を深めることを目的におこなっています。ルートの設定、資料準備を参加者が行ない、当日の進行等それぞれが役割を持ちながら実施しています。	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み！子どもコラージュ	ケアプラザ周知を目的におこないました。自由な作品作りを通して、子ども同士が触れ合う機会となりました。講師は近隣のお住まいの方が担い、保護者ともコミュニケーションをとりながら、個々の希望に沿った作品ができました。	夏・2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	エリア内の中学校、ケアプラザで認知症の理解を深めることを目的におこないました。	3月・2回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リフレッシュエ アロ	健康維持・向上を目指して、参加をきっかけに地域住民の仲間づくりとしておこなっています。受付、会場設営は参加者も関わり、役割を持ちながらの開催となっています。	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨志田囲碁倶楽 部	囲碁を通して顔の見える関係づくりを目的におこなっています。ボランティア活動のきっかけとして、ケアプラザのお祭りや、初心者向け囲碁教室の指導係を担っています。	年36回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小児救命救急講 座	ボランティアによる子育て広場を利用して、救命救急講座を実施しました。地区の消防署職員によるAEDの使い方、家の中の事故や注意すること、救急車の呼び方の説明の後に保護者や、ボランティアからの質問もあり広場の運営にも役立てていただく機会となりました。	11月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はまちゃん体操	介護予防を目的に健康維持、向上を目指して体操をおこなっています。場所は気軽に参加できるようケアプラザのラウンジを利用してはまちゃん体操、歌に合わせたリズム体操のあとは、参加者の情報交換の場として活用していただいています。	週1回・48回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
畑プロジェクト	農作業を通して、地域住民の顔の見える関係づくりを目的におこなっています。地区のお祭りやサロン等に協力をするなど、活動が広がってきています。	年66回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーリハビリ体操	介護予防を目的に健康維持・向上を目指す体操教室です。エリア内の施設の理学療法士が講師を務め、個々の身体状況に合わせて、ストレッチやボールを使った運動をおこない、レクリエーション形式のメニューも取り入れ、参加者同士が親睦を図りながらおこなっています。	年・23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操教室ひまわり	高齢者の介護予防を目的におこなっています。ストレッチ、レクリエーション、リズム体操の他、食事会、茶話会等親睦を図りながら開催しています。	年・20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨志田ウォーキングクラブ	健康維持、地域住民の輪作りを目的におこなっています。参加者担当付きはルート検討、当日の進行の他、親睦会を設け、コミュニケーションをとりながらおこなっています。	年11回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン健康マー ジャン	地域住民の居場所、仲間づくりを目的におこなっています。見守り、講師は貸館利用団体等に依頼して、参加者もできる限り準備・会場設営等おこない、協力しながらの開催となっています。年1回の大会では、参加者が担い手となり、参画しています。	24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑和会	主に男性対象の食事作りを通して、地域に興味関心を深め、ボランティア活動へつながるよう、各担当月に献立作成、材料の買い出し、当日の進行を担いおこなっています。季節ごとに親睦会も企画し、住民の仲間づくりの場となっています。	10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨のお楽しみ会	地域住民の仲間づくりを目的におこなっています。講師は近隣住民が務め、季節にあった作品作りを親睦を図りながらおこなっています。参加者のリクエストを受け親睦を深めながらおこなっています。	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨志田フォトク ラブ	地域住民の交流の場としておこなっています。四季に応じた、写真撮影会と親睦会、講評会をおこない、定期的に作品展示もあり、参加者の交流の輪が広がってきています。参加をきっかけに、ボランティアとして、地域活動につながってきています。	月1回・12回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶の手習い	地区のコミュニティハウスを利用して、お茶を学び住民同士の交流を図る場としておこなっています。学校内にあるため、子育て世代の参加もあり、多世代の知り合えるきっかけとなっています。	月1回・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くらしのいけばな花あそび	地域住民の仲間づくりを目的におこないました。地域にお住まいの方が講師となり、材料の準備、会場設営は参加者とともにおこない、手作りの会となっています。作品を年1回のお祭りに紹介し、活動が広がっています。	13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
唄声喫茶	歌を通して、地域住民の交流の場としておこないました。手作りの歌集を使い、会場準備、片づけ等参加者同士がコミュニケーションをとりながらおこなっています。ケアプラザのお祭りのステージで発表するため、年間の予定を組みながらおこなっています。参加者が楽器の演奏を発表する時間も設けて、活躍する機会となっています。	月2回・24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザフェスタ	ボランティア活動を広げる目的でおこない、サークルの作品展示、ステージ、模擬店を事業参加者、貸館利用者、ボランティアの協力を得ながらおこないました。参加をきっかけにボランティア活動につながっています。	12月・1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
デッサンから学ぼう	地域住民の交流を目的におこないました。デッサン、水彩画、水墨画など参加者の希望に合わせて自由に選択し、内容年2回館内に作品を展示する機会も設けて、活動の紹介、発表もおこないました。	月1回・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	絵手紙を作成することをきっかけに、地域住民の情報交換をしながら、多世代が交流を持つ機会となっています。	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布あそび	キルトの作品作りを通して、地域住民の仲間づくりを目的におこないました。講師は近隣にお住まいの方に依頼し、作品の準備等は講師と教室創業者がおこない、継続した交流を持ちながらの開催となっています。	月1回・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨のお茶の間	地域住民の情報交換、声のかけあえる関係づくりを目的におこないました。お茶の作法を学び、地域の活動へも出向き、お茶をふるまうなど、参加者が担い手となり、29年度は音楽ホール内ロビーにて出店もして、活躍の場が広がっています。	月1回・12回